

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	神奈川
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	厚木市立戸田小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14	22
児童数	80	63	55	72	62	62	6	400	

研究の概要

1. 研究主題

算数科学習における効果的な少人数指導

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<ul style="list-style-type: none"> ・3, 4, 5, 6年生・算数 児童の理解の状況に差が出やすい教科、学年であるため。
--

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 算数科学習における少人数指導のあり方 研究の見通し(仮説) 学習内容の理解や種々区の程度等に応じた学習形態による指導や評価の方法、支援体制の工夫により学力の向上を図る。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導における基本的な考え方 ・学習形態(グルーピング)の決定方法 ・学習形態決定の観点 ・基本的な授業モデルと評価規準の作成 ・S-P表による評価 ・外部専門家による指導体制
--------	--

テーマ

平成 15 年度	<p>算数科学習における効果的な少人数指導 研究の見通し 個性を生かした効果的な少人数指導方法や評価により、学力の定着を図る。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な授業モデルと評価規準の関連 ・個人の推移とグループの変遷 ・学習形態の細分化と指導法 ・個性を伸ばす部会の研究推進 ・S - P表による評価と分析 ・外部学習指導支援者による指導体制の推進 ・少人数指導実践上の諸問題
----------------	---

平成 16 年度	<p>テーマ</p> <p>算数科学習における少人数指導法による学力向上の工夫 研究の見通し 少人数指導法により基礎的・基本的な内容の定着に努めることや個性を生かした指導の充実により確かな学力の向上を図る。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な内容の定着と授業モデルの方策 ・個性を生かした教材と学力との関連 ・S - P表による評価と分析、学力の確認 ・個性を伸ばす部会の充実
----------------	---

(3) 研究推進体制

<ul style="list-style-type: none"> ・校内学力向上フロンティアスクール推進委員会（個性に合わせる部会） （校長、教頭、教務主任、少人数指導担当者2人、第1学年担任1人、第2学年担任1人、第3学年担任1人、第4学年担任1人、第5学年担任1人、第6学年担任1人） ・個性を伸ばす部会 （第1学年担任1人、第2学年担任1人、第3学年担任1人、第4学年担任1人、第5学年担任1人、第6学年担任1人）
--

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

<ul style="list-style-type: none"> ・S - P表による評価結果により、子ども達に確かな学力がついた。 ・子ども達が算数の時間に対して意欲的、積極的にのぞみ全員が生き生きとしていた。 ・子どもと教師との距離がなくなり、会話がスムーズにできるようになった。 ・外部学習指導支援者の協力もあり、個に応じたきめ細かな指導が可能となり、グループの多層化に対応できた。 ・学習ペースや学習進度、習熟の程度を子ども自身に合わせたので、精神的にゆとりを持って学習に取り組めるようになり、学習意欲の向上につながった。
--

- ・事前の研究と打合せにより、指導者の資質の向上と授業の充実と図ることができた。

2. 今後の課題

- ・教師間の打合せをする時間と教材を工夫する時間、問題作成をする時間を十分に確保できない。
- ・同じグループの中でも時間差が生じており（グループの多層化）、なおきめ細かな指導するにはさらに指導者が必要である。
- ・用紙代や印刷代に費用と時間がかかる。

学力等把握のための学校としての取組

- ・学期毎に重点単元を設け、まとめのテストをS - P表で分析し、子ども達の正答率を把握している。さらに、「ぐんぐんコース」「じっくりコース」別にS - P表を作成し、コース毎の成果と特徴を明らかにし、個別指導に生かしている。正答率は、どの学年も90%を超え、確かな学力の定着が見られた。
- ・平成16年2月2日（月）神奈川県公立小学校及び中学校学習状況調査に抽出校ではないが、実施する。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

研究会

- 6月2日 第2回厚木愛甲地区小学校教育研究会算数部会 授業公開
- 6月25日 地区学力向上推進連絡協議会 研究進捗状況の説明と授業公開
- 8月6日 愛甲・津久井地区小学校教育課程研究会算数部会 実践発表
- 8月25日 全県小学校教育課程研究会全体会 実践発表
- 10月15日 愛甲教育事務所主催「教育指導方法の改善に関する研究会」
第3回地区学力向上推進連絡協議会 実践事例報告、研究進捗状況の報告と授業公開
- 11月19日 厚木愛甲地区小学校教育研究会第2回地区研修会
実践発表、公開授業、授業研究

保護者授業公開

- 平成16年1月21日 第4学年保護者授業公開
- 1月27日 第5学年保護者授業公開
- 2月3日 第3学年保護者授業公開
- 2月6日 第6学年保護者授業公開

学校便り（平成15年4月号・7月号・11月号・平成16年1月号）に学力向上フロンティアスクールについて掲載

本校のホームページ

<http://edu.city.atsugi.kanagawa.jp/toda-es/>

ホームページに実践研究について掲載

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無